

道路に關する法令抄

平井生

「道路の改良」第十二卷第一號 | 道路法施行十周年記念號に登載

載附錄中茂庭工學博士の日本交通土木史年表及淺香小兵衛氏の
道路法年譜は我邦道路史調査資料として最も必要なものであ
るが明治二十四年乃至大正七年間が缺如し居るので甚だ遺憾に

思ふ、所で某知人よりせめて法令でも補足せんものと餘暇に記
録したもの寄せ來つたので参考として之を掲ぐることとした。

明治二十四年

月日

記事

三二七 勅令二六號土木工事ノ特許起業保證金ノ件
三四 同 勅令一〇四號土木監督署官制中改正
同 勅令一一四號土木監督所長年俸
二九 勅令一九六號土地收用法中府縣參事會ノ職務

一一一
一一二
一一三

ニ關スル件

一一四
一一五
一一六

内務省令土木監督署ニ係ル民事訴訟ニ附キ國
ヲ代表スル權利委任ノ件

一一七
一一八
一一九

明治二十五年

一一一
一一二
一一三

勅令五二號土木會規則

一一四
一一五
一一六

明治二十六年

一一一
一一二
一一三

勅令六六號土木會々長委員及臨時委員旅費支
給方

一一一
一一二
一一三

勅令一二九號土木監督署官制中改正

一一一
一一二
一一三

法律五號軍用電信法

二三 勅令六六號内務省ニ土木技監ヲ置クノ件

業ニ對シ國庫補助ニ關スル件

二三 勅令八四號河川道路港灣調查ニ關スル職員

ノ未用中舊所有者ニ貸付ノ件

二三 勅令八五號内務省直轄臨時土木工事施行ニ關

勅令一五號國ノ起業ニ係ル工事ニ要スル土地

同 同 同 勅令八六號土木監督署官制

ノ未用中舊所有者ニ貸付ノ件

二三 勅令八七號土木會規則中改正追加

勅令一八〇號土木監督署ニ技監及事務官設置

二三 勅令八七號土木會規則改正

勅令一八一號土木監督署ノ年俸

二三 土木會規則改正

勅令三七七號河川法第四十八號ニ依ル命令

明治二十九年

明治三十二年

四 河川法

法律八二號耕地整理法

四 河川法

法律一〇五號要塞地帶法

二 勅令二三六號河川法施行規程

二 勅令二三六號河川法施行規程

二 内務訓令七六二號郵便電信配達ニ關スル通行

明治三十三年

明治三十年

三 法律二九號砂防法

法律二九號土地收用法

三 法律三七號府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ事

法律六四號私設鐵道法

四 法律三七號府縣郡市町村其ノ他公共團體ノ事

法律八四號行政執行法

三〇	勅令九九號土地收用法施行令	四	二二	法律五七號輕便鐵道法
同	勅令一〇〇號土地收用法第六條ノ命令	明治四十四年	三〇	法律五五號電氣事業法
同	勅令一〇一號土地收用法第四十六條ノ件	明治三十四年	二	法律三七號公共團體ノ管理スル公用土地物件使用ニ關スル件
同	勅令一〇三號土地收用法第八十五條三項ノ命	大正三年	三	法律三〇號
令	令	大正七年	四	二五
二二	勅令四〇一號地方森林會規則中改正	大正七年	五	法律一五號軍用自動車補助法
三	二八	二八	四	二六
明治三十五年	法律三號北海道地方費法	明治三十八年	三	法律三五號東京市區改正條例中改正ノ件
三	八	八	二	法律三六號京都市、大阪市其ノ他ノ市ノ市區改正ニ關シ東京市區改正條例及東京市區改正
明治三十八年	法律一二號北海道土功組合法	明治四十一年	一	土地建物處分規則準用ノ件
三	七	七	二	勅令一五二號治水事業、河川港灣ノ改良及道
明治四十三年	法律四五號礦業法	三〇	三	路港灣ノ調査ニ關スル臨時職員設置
三	三〇	地租條例中改正ノ件	三〇	勅令一五三號都市計畫調查ニ關スル臨時職員設置
明治四十三年				

同	五	同	四	三	二	一	同	二	一
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
設置									

三一 勅令一五四號都市計畫調査會官制規

定ニ依ル事業施行及營造物管理ニ關スル件

三二 勅令一八二號東京市區改正委員會組織權限規

程

勅令一八三號京都、大阪其ノ他ノ市區改正委員會ノ組織權限ニ關スル件

勅令一八四號東京市區改正條例及東京市區改正土地建物處分規則等準用

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

尙國道路線認定に就ての内務省告示の年月日告示號を掲
くれば次の如きものである。

大正九年一月一〇五號。同年十一月三月五七號。同年八
月二二〇〇號。同年十二月三四七號。同十四年十月一六七
號。同十五年六月八三號。昭和二年七月三八二號。同年

十一月四七〇號。同三年五月一一二號及一一三號。同年
六月一四〇號。同年十月二九六號。同年三五五號。同年

十一月三四五號。同年十一月三四九號。同五年三月四八
號。同十一年九月五二六號。

小學生懸賞作文の發表

小學生懸賞作文募集要項

日本觀光聯盟主催の下に本年四月觀光祭が各地で舉行せ
られたが夫れと同時に左記の募集要項に依り小學兒童の作
文を募集し、小國民に對する觀光觀念の扶植に努められ
た。

一、題名 風景愛護、邦土美化に關するものを適宜選定せら
れ度し、例へば

○なぜ風景を大切にしなければならないか
○なぜみだりに木や草花を折つてはならないか